

令和3年度

事 業 実 施 報 告 書

新潟市南区社会福祉協議会

新潟市南区社会福祉協議会事業報告

【概 要】

新型コロナウィルス感染症の収束が未だ見込まれないなか、南区社会福祉協議会では、地域のつながりを断つことのないよう、地域住民の皆様や関係機関とともに創意工夫を凝らして、地域福祉活動の新しい姿を模索しました。一方、コロナ禍により生活に困窮する世帯からの相談に応じ、生活福祉資金特例貸付の窓口業務を担うとともに、世帯の経済的負担軽減の一助として、日用品や食料品等の支援も引き続き実施しました。

また、令和3年度からの6ヵ年計画である「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画（南区地域福祉アクションプラン）」推進のため、各地区においてコミュニティ協議会や関係団体の皆様と一緒に、初年度の活動に関する評価と次年度への方向性を確認しました。

この他には、ボランティアに関わる活動支援や受援力、地域課題に関する各種講座の開催、ひきこもりに関する連絡会や家族の居場所の開催など積極的に地域福祉の推進に取り組んできました。

事業の実施状況について次のとおり報告します。

【事業実施状況】

1. 地域福祉推進活動事業

(1) 地区社協活動支援

地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に、事業費助成など様々な支援を行いました。

○コミ協会長・地区社協会長・地域生活センター職員合同会議

開催日	会 場	協議内容
令和3年 7月27日(火)	白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none">・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について・令和3年度地区社会福祉協議会交付金について・令和3年度地区社会福祉協議会活動推進事業について・南区社会福祉協議会業務依頼について・第15回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について

○コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

(2) ふれあい・いきいきネットワーク活動事業

地域の自治会単位での高齢者等見守り活動に対し、事業費助成を行いました。

	R3(件)	R2(件)	2019(件)
取り組み件数	2	1	1

(3) 南区地域福祉アクションプラン推進委員会

南区地域福祉アクションプラン第3期目（令和3年度～8年度までの6年間）の計画を推進するため、「児童・子育て支援」「障がい福祉」「高齢者福祉・介護者支援」及び「地域づくり」の4分野別及び地区ごとの地域福祉活動計画の評価会議を開催し、目標達成のための「現状と課題」「取り組みの方向性・内容」について推進委員で検討しました。

また、地区ごとの地域福祉活動計画について年度初めと年度の終盤に地域で会議を開催し、目標達成のための取り組み方を検討し、その効果はどうだったかを検証する仕組みをつくりました。

回	開催日・会場	主な内容
1	令和3年8月4日(水) 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none">・委員長・副委員長の選任について・南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画における令和2年度の取り組みと評価について他
2	令和4年3月 書面にて意見聴取	<ul style="list-style-type: none">・R3年度南区地域福祉アクションプラン（分野別計画）の取り組みについて

		・R3 年度南区地域福祉アクションプラン（地区別計画）の取り組みについて 他
3	(地区座談会) ①令和 3 年 4~6 月 ②令和 3 年 12 月～令和 4 年 1 月	①令和 3 年度のアクションプランの取り組みに関する計画打合せ会議（12 地区で開催） ②令和 3 年度のアクションプランの取り組みに関する評価会議（12 地区で開催）

（4）地域包括ケア推進事業

市から生活支援体制整備事業を受託し、2 圈域の支え合いのしくみづくり推進員（S C）とともに、地域コミュニティ協議会をはじめ、自治会・町内会、地域の茶の間等で支え合いのしくみづくりや地域での見守り、助け合い・支え合いの活動の必要性について、住民の意識啓発に努めました。

味方・月潟圏域において、令和 2 年度より続いている支え合いのしくみづくり会議事務局及び推進員が不在の状況に対し、当圏域の支え合いのしくみづくり会議及び南区役所健康福祉課、南区社会福祉協議会で進め方を協議し、結果それぞれの地域において、支え合いのしくみづくり推進員を配置することとし、両地域ともに体制を整えることができました。

令和元年度に活動を始めた南区助け合い「お互いさま・新潟」（通称：南区お互いさま）の助け合いの活動については、これまでの活動を振り返り、対応ルールが統一されていない点や、関係者へ周知された内容と現在の内容が異なる点があるなど、課題の整理や見直しについて検討しました。

また、地域福祉推進の担い手として連携協働している社会福祉協議会と地域包括支援センター、支え合いのしくみづくり推進員の取り組みや地域住民との協働による取り組みを地域住民に対し発信し、住民と福祉専門職が協働して取り組む意識醸成を目的とした支えあいフォーラムを計画しました。新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、フォーラムの開催はできませんでしたが、DVD や南区社会福祉協議会のホームページにアップするなどして配信し、広く周知できるよう動画を作成しました。

○南区第 1 層支え合いのしくみづくり会議開催状況

	開催日	主な内容
第10回	書面にて、活動報告 及びアンケート調査 を実施	・令和 3 年度上半期南区第 1 層圏域支え合いのしくみづくり活動報告 ・令和 3 年度 南区支え合いのしくみづくりに関するアンケート 構成員：18 人（区役所、区社協はのぞく）
第 11 回	書面にて、活動報告 及びアンケート結果 の報告	・令和 3 年度下半期南区第 1 層圏域支え合いのしくみづくり活動報告

		<p>・令和3年度 南区支え合いのしくみづくりに関するアンケート結果の報告</p> <p>構成員：18人（区役所、区社協はのぞく）</p>
--	--	---

○南区第2層支え合いのしくみづくり会議開催状況

圏域	開催日		会場
臼井・白根北	令和4年3月		書面にて活動を報告
白南・白根第一	令和4年3月		書面にて活動を報告
味方・月潟	合同	R3年7月2日（金）	味方出張所
	味方	R3年7月30日（金）	味方出張所
		R3年9月17日（金）	東区中野山コミ協
		R3年12月7日（火）	味方出張所
		R4年1月25日（火）	味方出張所
		R4年2月16日（水）	味方出張所
		R4年3月7日（月）	味方出張所
	月潟	R3年11月24日（水）	月潟公民館
		R3年12月20日（月）	月潟出張所
		R4年3月14日（月）	月潟出張所

○南区支え合いのしくみづくりフォーラムの開催

開催日時	会場	内 容
令和3年 1月22日（土） 13:30～15:30	※蔓延防止等重点 措置発令のため 動画配信	<p>第1部 基調説明 演題：「地域包括ケアシステムの現状」 新潟市南区役所健康福祉課 課長 佐藤 正和 氏</p> <p>第2部 実践報告 「新潟市南区における取り組み」 ○地域包括支援センターの業務と地域包括ケアシステムとの関わり 地域包括支援センターしろね南 五十嵐社会福祉士</p> <p>○支え合いのしくみづくり推進員から 南区社会福祉協議会 渡辺 卓也 (第1層支え合いのしくみづくり推進員)</p> <p>○大好きにいがた 白南中学校地域教育コーディネーター 細河 正行 氏</p> <p>○コーディネーター 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 青木 茂 氏</p>

○南区助けあい「お互いさま・新潟」（通称：南区おたがいさま）の活動

【住民相互の助け合い活動の実施・相談の受付】

日常生活において、手助けが必要な人と手助けできる人が「お互いさま」という気持ちでつながる有償の助け合い活動を行いました。

令和3年度相談件数：9件

- ・買い物や掃除、除雪、草取りといった生活に関する相談
- ・福祉サービスの利用に関すること、見守りに関すること等

令和3年度実働件数：3件

- ・買い物、掃除、草取り（いずれも継続的に支援を実施）

※実働につながらない相談は他の福祉サービスや福祉相談機関へ繋ぐ等の対応を行いました。

	白井・ 白根北圏域	白南・ 白根第一圏域	味方・ 月潟圏域	事業所・ その他	計
新規相談件数	0	9	0	0	9
活動（対応）件数	0	3	0	0	3

2. 区社協見守り・生活支援事業

（1）地域の茶の間・ふれあいきいきサロン、子育てサロンの育成と支援

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会等の小地域が主体となり仲間づくりや多世代交流事業を実施する「地域の茶の間・ふれあいきいきサロン」の立ち上げ支援や助成を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大により開催の自粛を呼びかける期間もありましたが、感染対策等の工夫をしながら、各地域で茶の間が開催されました。

また、南区内の地域の茶の間・ふれあいきいきサロン、子育てサロンの開催状況の把握に努め、南区社協だよりに実施団体の情報を掲載しました。

なお、地域の茶の間・ふれあいきいきサロン助成団体に対して、相談会を開催し、報告書類や次年度の助成申請書類の作成について個別に対応し支援を行いました。

○地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロン・子育てサロンの実績

地区名	サロン数						地区名	サロン数					
	高齢者			子育て				高齢者			子育て		
	市助成		助成無	区 社 協 助 成	市助成		助成無	区 社 協 助 成					
	月1回タイプ	月2回タイプ	週1回タイプ		不定期開催	季節開催等	月1回タイプ		不定期開催	季節開催等	月1回タイプ	季節開催等	
新飯田	2			1		1	鷺巣	1			1		
茨曽根	3			2			根岸	1			4		
庄瀬	1		1	1			大通	2			1		
小林	3			2			白根	11		1	1		
臼井	2						味方	2			6		
大郷	1			2			月潟	4		1	1		
(市助成金活用団体) 合計 37か所 月1タイプ (30,000円) / 33か所 モデルハウス天昌堂サロン / 1か所 (8月閉所) 週1タイプ (240,000円) / 3か所							合計	33	0	3	23	1	
							合計	59 (63)				1 (1)	

※ () 内は前年度数

○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・会場	内容・参加者
南区ボランティア・ 地域の茶の間・サロン 交流会 (開催中止)		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
地域の茶の間・いき いきサロン研修会 (開催中止)		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
地域の茶の間・ふれ あいいきいきサロン 助成事業報告及び申 請書類作成相談会	令和4年3月15日(火)、 17日(木)、18日(金)、 28日(月)、29日(火)、 30日(水)、31日(木)、 4月4日(月)	・令和3年度事業実績報告書、収支決算書、令 和4年度事業申請書、ボランティア行事用保険 の加入についての個別相談会

(2) おせち料理等宅配事業

各地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への配食サービス、友愛訪問活動、及びおせち料理宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食サービス対象者数	安心箱等訪問回数	おせち配食世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員	—	15	15
茨曾根地区社協	地区社協、民生委員	—	—	18
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	—	43	37
小林地区社協	民生委員、自治会長	—	238	28
臼井地区社協	地区社協、民生委員	—	104	35
大郷地区社協	地区社協、民生委員	—	—	23
鷺巣地区社協	地区社協、民生委員	109 (配食)	25	14
根岸地区社協	地区社協、民生委員	—	55	22
大通地区社協	地区社協、民生委員	—	225	36
白根地区社協	地区社協、民生委員	192 (配食)	—	198
味方地区社協	民生委員	—	60	51
月潟地区社協	民生委員	—	195	57
合 計		301 人 (588 人)	960 人 (907 人)	534 食 (517 食)

※ () 内は前年度数

(3) コミュニティソーシャルワーク事業

個別に支援が必要な世帯が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と情報共有や連携を行いながら、継続的に関わりました。個別支援から見えた地域課題に対し、関係機関と新たな社会資源立ち上げの検討や取り組み、地域への情報発信に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、昨年度に引き続きひとり親世帯や生活困窮世帯へ食料相談支援事業を実施しました。実施にあたっては、世帯の状況を伺いながら、継続的な面談を行い、必要に応じて関係機関と支援の方向性を確認する個別ケース会議を開催しました。

また、多職種ネットワーク会議では、高齢者等の「移動支援」をテーマに開催し、参加いただいた関係機関で、今後の地域での取り組みに向けた課題等についてのワークショップを行いました。

なお、課題に対する取り組みは次のとおりです。

回	開催日	主な内容
1	令和3年6月26日(土) 10月30日(土) 12月25日(土)	ひとり親世帯へ食料支援（協力：区健康福祉課児童福祉係、JAにいがたみらい、アグリパーク、フードバンクにいがた、食料支援賛同企業）
2	令和3年7月30日(金) 7月31日(土)	ひとり親世帯へ食料支援（協力：区健康福祉課児童福祉係、JAにいがたみらい、アグリパーク、フードバンクにいがた、食料支援賛同企業）
3	令和3年9月29日(水) ～10月1日(金) 令和3年11月22日 (月)～26日(金) 令和3年12月10日 (金)～15日(水) 令和3年3月11日 (金)～16日(水)	生活困窮世帯へ食料支援 (協力：フードバンクにいがた、国際ソロプチミスト新潟-西
4	令和3年11月30日 (火)	多職種ネットワーク会議 テーマ：「地域の移動支援に対するこれまでの取り組みについて 地域と福祉団体の報告について」

○南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

南区社会福祉協議会として、多職種との連携・協働に参画し、住民が「住み慣れた南区で生活を継続するために何が必要なのか」について、講演会並びに研修会の開催に協力しました。

開催日	会 場	内 容
令和4年3月27日(日)	白根学習館ラ スペックホー ル及びオンライン	在宅医療・介護の区民公開講座 ・講演：「あなたを守る人生会議 心不全で入院しない、させない。 今からできる生活改善」 ・参加者 約100名

（4）心配ごと相談事業

毎月第2・第4水曜日に心配ごと相談所を開設し、心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。

相談員は、本部主催の相談員研修会に参加し、相談員としての資質向上に努めました。

〔心配ごと相談所相談件数〕

区 分	R3	R2	2019
開催日数（回）	24	28	24
相談件数（件）	9	9	9

〔研修会〕

日時・会場	主な内容	参 加 人 数 (人)
令和3年11月9日(火) 市総合福祉会館	「人生いろいろ よろず相談」=令和編= ～法律相談の基礎知識から最近の相談事例まで～	7

(5) 生活福祉資金貸付制度の推進

低所得者世帯等を対象に生活福祉資金貸付について相談支援を行いました。

令和元年度3月から受付している生活福祉資金特例貸付においては、新型コロナウイルス感染拡大による休業や失業のための収入の減少で生活に困窮した世帯の相談支援を行いました。相談を受ける中で未だ収束しない不安や今後の家計相談をしたい、子どもの進学費用の相談がしたいなど声をいただいているため、引き続き関係機関等と連携しながら支援していく必要があります。

[新規貸付件数]

資金名		R3(件)	R2(件)	2019(件)
生活福祉資金	総合支援資金	0	0	0
	福祉資金	0	1	0
	教育支援資金	2	1	0
	不動産担保型 生活資金	0	0	0
合 計		2	2	0

[貸付件数] 特例貸付(コマ)

	R3 (件)	R2 (件)
緊急小口資金	59	77
総合支援資金	20	14

○日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し、福祉サービス利用や日常的金銭管理のサービス提供に努めました。

新規契約件数 (件)	サービス利用者数 (件)	契約終了件数 (件)
0 (1)	11 (14)	2 (2)

() 内は前年度数値

○緊急情報キット配付事業の実施

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治会・町内会長の協力のもと配布しました。

<令和年度配布内訳>

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計(本)
新飯田	0	1	0	0	1	0	2
茨曽根	0	0	0	0	0	0	0
庄瀬	2	1	0	0	0	0	3
小林	5	0	0	0	0	0	5
臼井	4	1	0	0	0	0	5
大郷	4	0	0	0	0	0	4
鷺巣	0	0	0	0	0	0	0
根岸	3	0	0	0	0	0	3
大通	9	5	0	0	0	0	14
白根	24	6	1	0	0	0	31
味方	4	2	0	0	0	1	7
月潟	1	1	0	0	0	0	2
施設	0	0	0	0	0	0	0
合計	56	17	1	0	1	1	76

*令和3年度末までの総配布数 1,188 本(うち 137 本有償)

3. ボランティアの育成と活動支援

(1) ボランティア・市民活動センター運営事業

コロナ禍によるボランティア活動の休止や活動者自身の不活性化によって、団体の縮小・解散につながらないよう、昨年に引き続き機会を見つけては活動状況の聞き取りや元気づけの声掛けを行いました。

○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/ 施設	視覚障 がい	聴覚障 がい	その他	災害 関係	計
団体数	5	2	9	2	1	2	35	1	57
所属人数	63	64	159	59	17	50	676	35	1123
個人人数	5	3	1	0	0	0	5	5	19

○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事用保険（件）
517	474

○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティア したい（件）	ボランティア 欲しい（件）	情報提供 したい（件）	情報欲しい（件）	計（件）
4	5	4	19	32

○ボランティア・市民活動センター運営委員会

災害関連の事業の中で大雪の際の対応先について提言をいただき、建築組合様とつながることができました。また2年度の事業報告をした折、コロナ禍にもかかわらず多くの事業を行った旨、委員よりお言葉をいただきました。

区分	R3	R2	R1
運営委員会回数(回)	2	1	1
運営委員数(人)	6	6	5

○南区ボランティア・市民活動センターだより

12月発行号は、南区で積極的に活動しているボランティア3名に取材を行い、それぞれの活動をまとめたインタビュー集を発行しました。2月発行号は、令和3年度の事業について紹介する内容で、昨年度に引き続き社協だよりとの合併号として新聞折込による全戸配布を行いました。

区分	部数	配布先
12月発行 No.11	700部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、その他関係先
2月発行 No.12	送付1,500部 新聞折込12,000部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先

○大雪対応

令和2年度が大雪であったことから、除雪の有償ボランティア支援について建築組合様へ協力要請を行いました。しかし令和3年度は積雪が少なかったことから、問い合わせもなくボランティアの対応はありませんでした。

区分	除雪	生活支援	その他	計	うちボランティア活動人数
相談件数	2	0	0	2	0

(2) 災害ボランティアセンター運営事業

○災害ボランティアセンター検討委員会

災害発生時での災害ボランティアセンターの役割や運営を学ぶ研修を実施しました。また、これまでの検討内容からでてきた課題から今後の取り組みを整理し、次年度の事業計画を検討しました。

区分	R3	R2	2019
検討委員会回数 (回)	6	4	5
検討委員数 (人)	8	8	9

＜実施状況＞

開催日	内容	参加委員数 (人)
令和 3 年 4 月 20 日(火)	新規メンバー顔合せ、令和 3 年度訓練内容検討、南区災害ボランティアセンター候補地選定	4
6 月 15 日(火)	災害ボランティアセンター基礎研修	5
8 月 17 日(火)	自主研修	8
10 月 19 日(火)	自主研修	8
12 月 21 日(火)	設置訓練振り返り 南区の地形とハザードマップについて	7
令和 4 年 2 月 15 日(火)	令和 3 年度訓練の課題確認点と検討点について 令和 4 年度検討委員会及び設置訓練について	6

○災害ボランティアセンター設置訓練

令和 3 年度の設置訓練では、地域での災害発生を想定した設置場所の選定や被災時の他団体の役割の共有を行い、円滑な運営や連携を図れるように各担当の活動内容について確認しました。

区分	R3	R2	2019
設置訓練参加者数 (人)	26	19	24

＜実施状況＞

開催日	会場	内容・参加団体	参加者数(人)
令和 3 年 11 月 21 日(日)	白根野球場	南区災害ボランティアセンター設置訓練 白根青年会議所、白根ライオンズクラブ、 南区赤十字奉仕団、南区役所地域総務課、 健康福祉課、南区社協	26

○地域防災（防災学習）

令和2年度に開始した地域防災出前講座は、近年の自然災害による防災に対する意識の高まりから自治会や自主防災会等10団体からお声がけいただき、災害発生時の対応や日々の備えなどの防災学習を開催しました。

区分	R3	R2	2019
防災学習参加者（人）	310	315	—

＜実施状況＞

開催日	会 場	内容・参加団体	参加者数（人）
令和3年4月6日(火)	道潟ふれあいセンター	道潟自治会(茨曽根地区)	16
6月17日(木)	新飯田地域生活センター	新飯田地区自主防災会	33
6月26日(土)	アグリパーク	大郷地区自主防災会	34
7月18日(日)	下茨ふれあいセンター	下茨自治会(茨曽根地区)	27
8月5日(木)	サルナート吉運堂	白根ロータリークラブ	20
10月3日(日)	根岸地域生活センター	根岸地域自主防災会	40
10月24日(日)	白根地域生活センター	白根南部・中部・北部三者合同防災訓練	78
10月31日(日)	月潟農村環境改善センター	月潟コミュニティ協議会	21
11月18日(木)	臼井地域生活センター	臼井地区自主防災会	19
11月29日(月)	南区役所	市私立園長会	22

(3) ボランティア・市民活動育成事業

○ボランティア講座・交流会

きっかけづくり講座は、昨年度参加できなかった方々からご要望をいただいて、障がい児者を持つ親に向けて、親亡き後のお金についての講座第2弾を開催し、支援を受ける側の受援力の強化を目指しました。コロナ禍で開催した交流会は、活動が途絶えている福祉施設とボランティア団体をオンラインで結び、活動発表や交流タイムを通して関係性の維持に努めました。

区分	R3	R2	R1
ボラ講座参加者数（人）	44	102	2
新規ボラ団体設立（団体）	0	0	0
交流会参加者数（人）※代替事業	64	63	119
施設研修会参加数（人）※代替事業	64	107	16

※交流会、施設研修会代替事業

「南区ボランティア団体オンライン活動発表会・交流会」

新型コロナウイルス感染拡大により福祉施設でのボランティア活動が2年に及んで休止していることを鑑み、通年ボランティア団体とサロン運営者、元気力アップサポーターを参加者として開催する交流会を、ボランティア団体と受入施設が交流する会として開催しました。開催会場と施設をオンラインでつなぎ、前半は認定看護師による感染症予防講座、後半はボランティア団体の活動発表、その後、施設とボランティアの交流タイムを設けました。併せて会場参加できなかった団体の活動紹介スライドを放映しました。開催後、11/5～12/の期間、同交流会の録画をYouTube放送しました。

<実施状況>

開催日	事業名	参加者数（延べ人数）
令和3年9月26日(日)	ボランティアきっかけ作り講座（受援力強化）	24
令和3年6月19日(土)	ボランティア担い手講座	20
中止	中学生ボランティア交流会	—
令和3年10月29日(金)	南区ボランティア団体オンライン活動発表会・交流会 ・ボランティア団体4団体19名 ・ボランティア受入施設4施設35名 ・スライド活動紹介団体数20団体 ・YouTube 視聴者数305カウント	64

(4) 福祉教育推進事業

令和3年度は小学校で行う福祉教育のプログラムを、福祉講話と視覚障がい者や聴覚障がい者との当事者交流、音声訳ボランティア体験に集約しました。コロナ感染者が多発した1~3月は、小学校で行う福祉教育の福祉講話をオンラインで実施し、当事者交流はオンラインでも可能な授業として当事者から手話を学ぶ新たなプログラムを計画・実施しました。中学校では、総合的な学習の時間を連続的に使い、地域課題の洗い出しから解決案、取り組みの発表会を通して福祉の学びを進めていただきました。大人を対象とした福祉教育では、実際にボランティアする職員に向けたボランティア入門講座、地域のボランティアを増やすためのボランティア入門講座、実務に活かすための高齢者体験・車いす体験など学びが社会還元につながるプログラムを実施しました。

区分	R3	R2	R1
福祉教育実施学校（校）	10	8	12
大人の福祉教育実施（回）	5	2	3

<実施状況>

対象	内容	回	参加者数(延べ)
新飯田小学校4年生	福祉について、当事者交流（視覚及び聴覚）、音声訳体験	4	56
庄瀬小学校4年生	福祉について、視覚障がいについて、当事者交流（視覚及び聴覚）	3	60
小林小学校4年生	福祉について、高齢者体験、当事者交流（視覚）、音声訳体験	3	63
根岸小学校4年生	福祉について、聴覚障がいについて、当事者交流（聴覚）、手話を学ぶ	3	96
大通小学校3年生	福祉について、当事者交流（視覚）、ユニバーサルデザインについて ※2クラス	3	183
味方小学校4年生	福祉について、聴覚障がいについて、当事者交流（聴覚）、手話を学ぶ	3	117
茨曾根小学校4年生	福祉について、当事者交流（視覚及び聴覚）、音声訳体験	4	28
臼井中学校2年生	車いす体験	1	11
臼井中学校3年生	当事者交流（視覚）、音声訳体験	2	54
臼井中学校全校生	高齢者施設交流の企画・実施 ※オンライン開催	4	244
白南中学校2年生	地域の課題を捉え解決策を考える	5	200

白根高等学校 3 年生	ボランティアについて、高齢者施設交流（オンライン）、当事者交流（視覚）、音声訳体験	4	64
大通コミュニティ協議会	福祉とボランティアについて	1	23
ろうきん新津支店	福祉とボランティアについて	1	14
新潟市南消防署	福祉について、車いす体験、高齢者体験	3	57

4. 区社協広報・啓発活動事業

（1）ウェブセミナーの開催（南区社会福祉大会並びに健康福祉フェア中止に伴う代替事業）

コロナ禍により人や地域との交流の機会が減ったことから、人と人や地域がふれあい、つながることの大切さを考える機会として、「コロナ禍における新たなつながりや日常生活のあり方を考える」セミナーをウェブにより開催いたしました。

視聴期間	主な内容
令和3年3月29日（月） ～令和3年5月31日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1部 コロナ禍における上手なストレス解消と日頃の過ごし方 ～認知症の予防も含めて～ 白根緑ヶ丘病院 認知症疾患医療センター 院長 佐野英孝氏 ・第2部 コロナを吹き飛ばすほっこり、元気になれるメッセージ！ フリーアナウンサー 伊勢 みづほ氏 新潟医療福祉大学 社会福祉学科 佐藤花保氏 新潟医療福祉大学 社会福祉学科 佐野日香氏 ・第3部 Withコロナ時代の自分活動・地域活動 ～つながりを絶やさないために～ 新潟医療福祉大学 副学長・社会福祉学部長 丸田秋男氏 白根緑ヶ丘病院 認知症疾患医療センター 院長 佐野英孝氏

(2) 広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第47号	令和3年7月4日(日)	南区アクションプラン地域の活動、福祉教育、R3年度事業計画・予算、R2年度事業・決算報告、社協会費納入のお願い、R2年度共同募金実績報告、ボランティア団体紹介、ひとり親世帯支援募集案内、コロナ禍における新習慣、生活福祉資金貸付制度について、健康福祉フェアお知らせ、心配ごと相談所お知らせ、他
区社協だよりみなみ 第48号	令和3年9月26日(日)	南区アクションプランの取り組み(白南中学校・各地区自治会他)、南区健康福祉フェア開催中止お知らせ、開催講座延期のお知らせ、ボランティアきっかけづくり講座、賛助会員企業、赤い羽根共同募金運動協力のお願い、共同募金公募型助成案内、「ひきこもりに悩んでいる家族の居場所」開催について、ファミリーサポートセンター、地域の茶の間・子育てサロンMAP、他
区社協だよりみなみ 第49号 ※ボランティアだよりとの合併号	令和4年2月27日(日)	南区アクションプランと支え合いの仕組みづくり(地域の暮らしの足を考える・各地区的取り組み・ひきこもりに関する取り組み)、R3年度表彰報告、赤い羽根共同募金運動・法人募金事業所報告、寄付の御礼、困りごと相談(CSW)、心配ごと相談所お知らせ、茶の間サロンの実績報告と申請の相談会、他
区ボランティア・市民活動センターだより No.11	令和3年12月上旬	ボランティア・インタビュー南区特集(かぼちや電車保存会・平田翼、老人デイサービスセンター味方・柄倉加奈子、EMKチームボーダレス・中村美和)、令和3年度南区ボランティア団体オンライン活動発表会&交流会
区ボランティア・市民活動センターだより No.12 ※社協だよりとの合併号	令和4年2月中旬	南消防署車いす&高齢者体験、ろうきん新津支店ボランティア講座、中学校・小学校の福祉教育310名、大通小学校盲導犬と一緒に当事者交流、白根野球場で災ボラ設置訓練、地域防災学習およそ390名受講、きっかけづくり講座、担い手講座、食糧支援ボランティア、顕彰金でポータブルマイク購入、ほか

5. 区社協運営事業

(1) 理事会の開催状況

区分	開催日・会場	協議題
第1回理事会	令和3年4月6日（火） 南区社会福祉協議会 大会議室	・南区社会福祉協議会正副会長の選出について
第2回理事会	令和3年5月28日（金） 南区社会福祉協議会 大会議室	・令和2年度南区社協事業報告について ・令和2年度南区社協収支決算について
第3回理事会	令和3年10月8日付 書面表決 (新型コロナウイルス感染 拡大防止のため)	・令和3年度南区社協会長表彰被表彰者の選考について ・理事の一部選任について ・副会長の選任について
第4回理事会	令和4年3月22日（火） 南区社会福祉協議会 大会議室	・理事の一部選任について ・令和4年度南区社協事業計画（案）について ・令和4年度南区社協収支予算（案）について

(2) 監事会の開催

区分	開催日・会場	監査事項
監事會	令和3年5月25日（火） 南区社会福祉協議会 2階会議室	・令和2年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・令和2年度南区社会福祉協議会収支決算について

(3)会員会費の納入状況(目標額：1世帯 500円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額（円）
新飯田	487	482	99.0	241,000
茨曽根	428	412	96.3	206,000
庄瀬	637	631	99.1	315,500
小林	1,177	932	79.2	466,000
臼井	964	828	85.9	414,000
大郷	454	416	91.6	208,000
鷺巣	521	495	95.0	247,500
根岸	1,158	1,002	86.5	501,000
大通	2,325	2,140	92.0	1,070,000
白根	3,732	2,735	73.3	1,367,300
味方	1,269	1,032	81.3	515,400

月 潛	1,150	1,035	90.0	517,500
合 計	14,302 (14,213)	12,140 (12,075)	84.9 (85.0)	6,069,200 (6,036,700)

※ () 内は前年度数値

(4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個 人	74 人	47,000 円	(81 人 53,500 円)
法 人	22 社	145,000 円	(22 社 135,000 円)

6. 市受託事業の推進

(1) 生きがい対応型通所事業

高齢者の閉じこもり防止、介護予防や健康増進を図ることを目的として、健康体操やレクリエーション等を提供することで、生きがいづくりと社会参加を促し、社会的孤立感の解消と自立した生活を支援しました。

会 場	開設曜日	開設日数	延べ利用者数	主な内容
白根健康福祉センター 2階	木・金曜日 (祝祭日休)	80 日	686 人	・ゲーム、歌、折り紙、 ・レクリエーション、輪投げ ・健康づくり体操

新型コロナウィルス蔓延防止のための休止期間

・令和3年9月3日～9月1日 　・令和4年1月21日～3月6日 合計16回休み

(2) 元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により交付金として還元しました。

区 分	説明会		サポーター登録者数 (人)	登録施設数 (施設)
	開催数 (回)	参加者数 (人)		
令和3年度	5	9	(新規) 8	2
累 計	231	186	153	49

○元気力応援事業

令和2年度はコロナ禍で福祉施設が活動を休止している関係で、積極的な登録呼びかけや活動案内を行うことができなかった代わりとして、南区社協を会場に清拭布切り等の活動を元気力応援事業として行いました。

区分	R3	R2	R1
元気力応援事業 (人)	42	22	—

＜実施状況＞

開催日	全参加者数	サポーター参加者数
令和3年4月8日(木)	4	4
令和3年5月13日(木)	5	5
令和3年6月10日(木)	4	4
令和3年7月8日(木)	2	2
令和3年8月12日(木)	4	4
令和3年9月9日(木)	0	0
令和3年9月27日(月)	8	3
令和3年10月14日(木)	6	6
令和3年11月11日(木)	2	2
令和3年12月9日(木)	6	6
令和4年1月13日(木)	1	1
令和4年2月10日(木)	0	0
令和4年3月10日(木)	5	5

7. 共同募金事業の推進

[令和3年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区分	令和3年度 目標額	令和3年度 実績額	達成率	令和2年度 実績額	対前年比較
共同募金	6,330,000	6,198,334 円	97.9%	6,426,172 円	△227,838 円
歳末募金	3,000,000	3,152,867 円	105.1%	3,039,727 円	113,140 円
合計	9,330,000	9,351,201 円	100.2%	9,465,899 円	△114,698 円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	5,016,123 円	80.9%
法人募金	755,829 円	12.2%
学校募金	228,399 円	3.7%
街頭募金	0 円	0%
職域募金	115,622 円	1.9%
イベント募金	0 円	0.0%
その他募金	82,361 円	1.3%
合計	6,198,334 円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	3,077,095 円	97.6%
職域募金	74,935 円	2.4%
その他募金	837 円	0.0%
合計	3,152,867 円	100.0%